20180430日本在宅医学会第20回記念大会ランチョンセミナー14
医療介護専用SNSを活用した多職種連携の実際～地域包括ケア実現のために～

講演３：地域の医介連について
～としま医介連からはじまる多職種連携の実際～

全国医療介護連携ネットワーク研究会理事
医療法人社団創成会土屋医院院長

土屋淳郎

MCSを導入したけど、連携が進まない

何をしたらよい？

勉強会・講習会
説明会
ハンズオン
ミーティング
事例検討・症例報告
顔の見える連携
飲み会

どうやって行う？

参加者
　職種
　エリア
開催場所
コスト
連絡体制

➡としま医介連での取組みについて

地区医介連とは

全国医療介護連携ネットワーク研究会
トップ
ビジョン
メンバー
活動報告
地域包括ケアの実現
この研究会は、今後ニーズの高まる地域包括ケアの実現のため、医療分野と介護分野の連携を橋渡しするICTネットワーク

〇〇〇地区医介連
定例会議
・顔の見える関係作り
・展開方法検討
・事例共有
・Q&A
・会議の案内
・議事録の共有
MCSの自由グループで「〇〇〇地区医介連」グループを作成

〇〇〇地区医介連
定例会議
・顔の見える関係作り
・展開方法検討
・事例共有
・Q&A
・会議の案内
・議事録の共有
MCSの自由グループで「〇〇〇地区医介連」グループを作成

〇〇〇地区医介連
定例会議
・顔の見える関係作り
・展開方法検討
・事例共有
・Q&A
・会議の案内
・議事録の共有
MCSの自由グループで「〇〇〇地区医介連」グループを作成

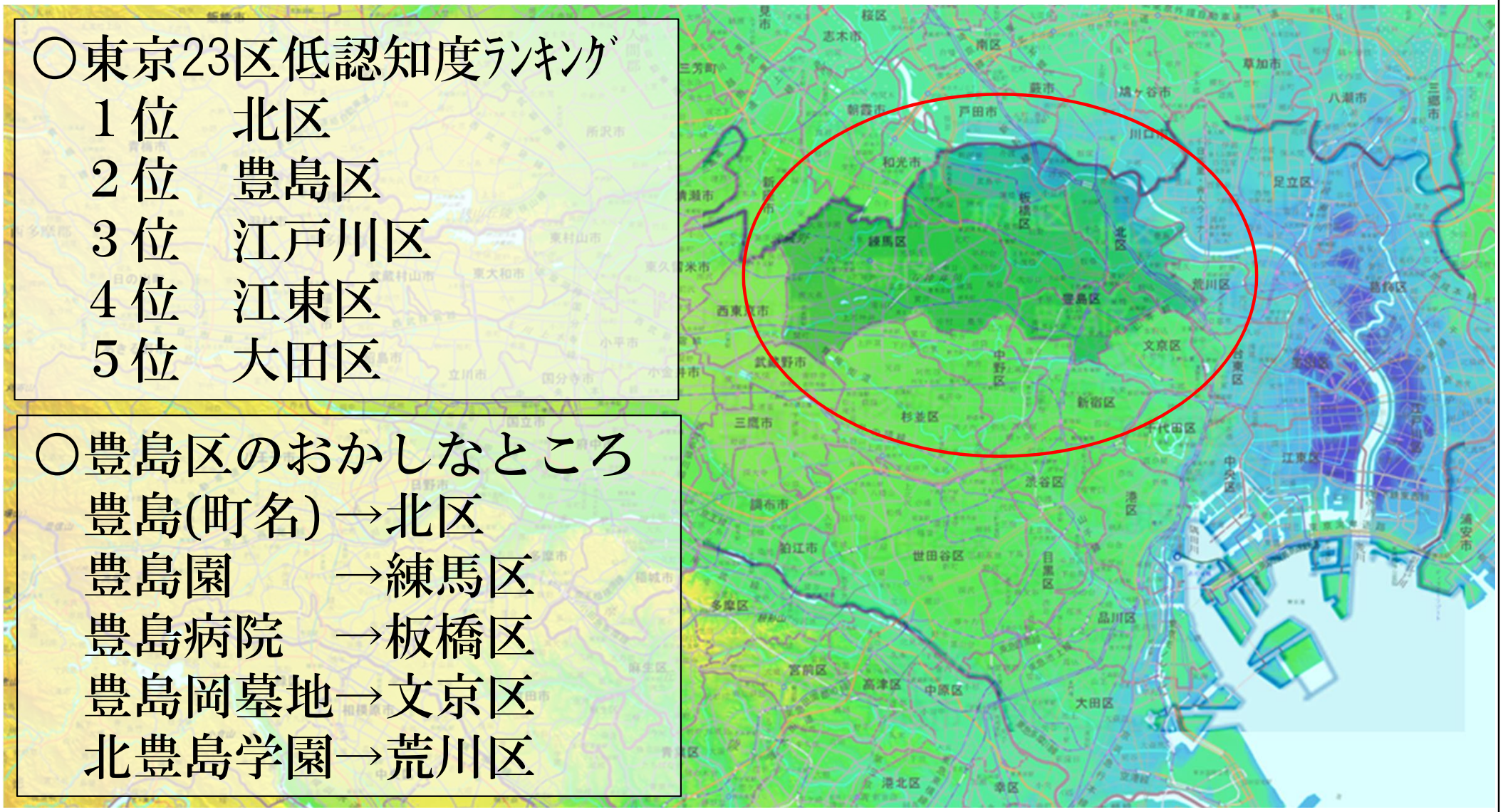
としま医介連

○東京23区低認知度ﾗﾝｷﾝｸﾞ

１位　北区
２位　豊島区
３位　江戸川区
４位　江東区
５位　大田区

○豊島区のおかしなところ

豊島(町名)→北区
豊島園　→練馬区
豊島病院　→板橋区
豊島岡墓地→文京区
北豊島学園→荒川区



境界を設けず、としまエリアを中心に活動するメンバーが対象

としま医介連メンバーミーティング

グループ説明

としま医介連の全メンバーが集まるグループです。

目的

(1)医療・介護・福祉・地域の連携
(2)地域包括ケアシステムにおけるICTネットワークの構築
(3)事例検討によるノウハウの提供

メンバー

(1)としまエリア(境界はもうけない)
(2)医療・介護・福祉など地域包括ケアシステムに関わる職種
ICTシステムに関わる職種
(3)有志の会であること
連携を希望すること
ノウハウを提供すること
営利目的ではないこと、に関してご理解いただける方々

としま医介連ができるまで

(在宅ICT会議の立ち上げ～前半)

2013年　2月　MCSの試用開始

3月　在宅難病患者訪問診療事業でのMCS利用の検討開始

4月　豊島区医師会の在宅医療担当委員会の下で第1回在宅IT会議を開催

- 参加：7名
- 議題：利用方法や周知方法の検討、勉強会開催の検討など
- 月2回のペースで開催

2013年

4.12 第1回　運用準備会　開催　難病訪問事業への運用試行
4.24 第2回　在宅IT会議　開催　理事会は試行了承　次回地域医療部医院参加
5.08 第3回　在宅難病4ケース　在宅療養支援ケースでの試用検討、助成申請検討
5.22 第4回　日本在宅医療学会学術集会の報告、勇美財団助成、iPadのレンタル検討
6.05 第5回　助成理事会承認5/31申請　医療情報部と一緒にiPad講習会開催予定
6.26 第6回　在宅ICT会議に名称変更　6/15毎日新聞に掲載
7.01 第7回　9/05にIT講習会決定　マスコミ反響大、都医に「24時間診療体制確保事業」計画申請
7.24 第8回　IT講習会準備、SB協力依頼　相互支援診療体制検討会報告提出
8.07 第9回　報告書「勇美」「相互支援」「ICT」の3本で報告　講演、研修会に出す
8.21 第10回 本人参加のライン開始予定　講習会に向けてアプリ紹介の検討、機材準備
9.04 第11回 iPad3台導入、ICT講習会準備打合せ、広報、講演会報告
9.25 第12回 地域医療部委員会に経過報告、今後「医師会」名で広報可。連携病床管理システム
10.09 第13回 在宅医療講習会他での報告、MCS活用の意義と概要、開始手順作成
10.23 第14回 歯科、薬剤師会も今後参加、都医医療情報検討委員会に報告、
11.13 第15回 豊島区在宅医療連携推進会議で報告、在宅医学会に2演題エントリー
11.27 第16回 在宅ITC小委員会(プロジェクトチーム)とし規定作成。日医認証局関連予定。
12.11 第17回 交流納会　参加者　　名　医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪看

2014年

1.08 第18回　連携図作成、推進委員会の報告(区の参加)と3/8交流会計画、MCS報告
1.22 第19回　医療連携交流会のプログラム、MCSデモの症例検討のイメージ
2.05 第20回　一時入院病床の確保事業補助申請の検討、各地医師会のICT化
2.27 第21回　MCSサミットでの評価、薬剤部門のMCS利用、交流会のシュミレーション画像イメージ

としま医介連ができるまで
(在宅ICT会議の後半からとしま医介連立上げ)

2014年　3月　　豊島区在宅医療連携推進会議 交流会
- MCSの講演会、MCSを用いた事例検討会
- 以後、在宅ICT会議に多職種の参加が増える

4月　　第24回より月1回開催に変更
- ○勉強会、講演会、事例検討会の開催
- ○多職種への参加呼びかけ
- ○連携リクエストアプリの完成
- ○納涼会、忘年会の開催
- ○医師会への報告
- ○行政への要望

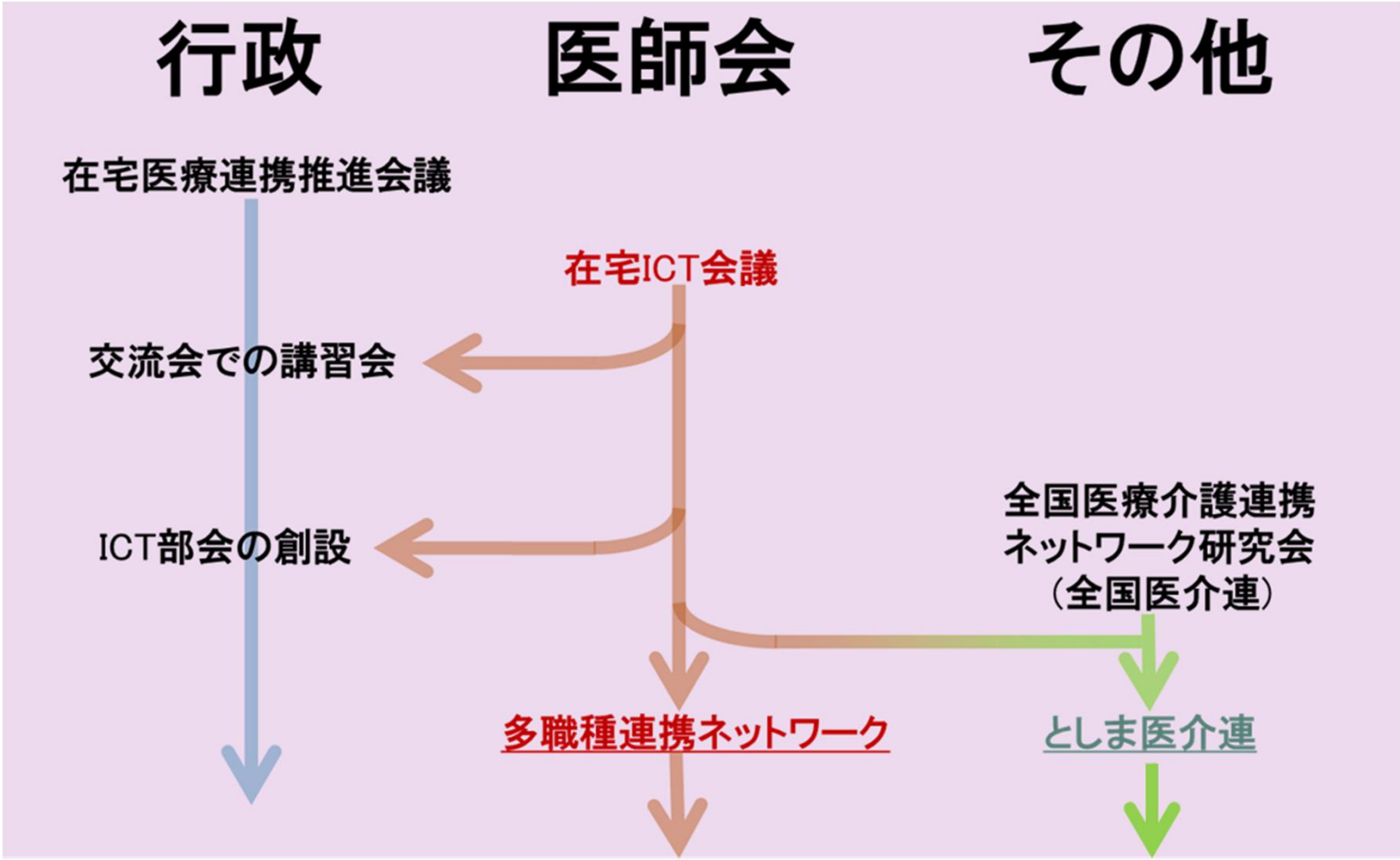
2015年　1月　　豊島区在宅医療連携推進会議 ICT部会の創設

4月　　東京都在宅療養推進基盤整備事業(多職種ネットワーク構築事業)開始

行政と医師会のそれぞれで多職種連携を議論する場ができた
⇒行政区を超えた連携、職種を超えた連携が必要

8月　　第40回で終了し「としま医介連」に移行

豊島区における多職種連携関連会議



としま医介連

- ○全国医介連と連携して行われる有志の研究会
- ○地域包括ケアの実現に向けて、情報共有、連携強化、事例検討などを行い、より良いネットワーク構築のためのノウハウやアイデアなどを出し合う
- ○豊島区以外のいろいろな職種が参加して良い
- ○区境、システムの壁、心の壁…いろいろな「壁」を越えて広げていきたい

多職種連携ネットワーク

- ○「東京都在宅療養推進基盤整備事業（多職種ネットワーク構築事業）」の一環として豊島区医師会が行っている
- ○各種の運用規定などの作成、広報番組の作成、講演会開催、タイムライン立ち上げ・招待、在宅医療資源マップの作成など
- ○豊島区の8カ所にある地域包括支援センターごとに「顔の見える連携」を構築し、これをベースにした多職種連携を推進する
- ○東京都在宅療養推進基盤整備事業はH29年で終了したが、同様の取り組みを区の補助で継続する

としま医介連　ミーティング概要

2015年	10/22	第1回としま医介連　開会、としま医介連の目的等、情報提供、利用法等
	12/4	第2回としま医介連　情報提供、事例検討、忘年会
2016年	1/26	第3回としま医介連　MCS2.0の説明、システム・運用・連携について検討
	4/11	第4回としま医介連　情報提供、としま医介連の位置づけ、事例検討
	6/4	第4回全国医介連(東京)にてとしま医介連の取り組み報告
	8/3	第5回としま医介連　職種毎の連携事情、埼玉県の取り組み、事例検討
	10/13	第6回としま医介連　講演会、セミナーなどについて、情報提供
	12/8	第7回としま医介連　セキュリティについて、病院の状況等、忘年会
2017年	2/7	第8回としま医介連　事例検討、隣接区と連携、病診連携、BYODについて
	4/7	第9回としま医介連　MCS3.0について、アプリ(服薬支援、褥瘡)、他区連携
	4/22	全国医介連「地区医介連設立支援セミナー」(東京)にてとしま医介連の取り組み報告
	6/8	第10回としま医介連　情報提供、在宅摂食嚥下機能障害患者へのチームアプローチの1例
	8/1	第11回としま医介連　医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5版、納涼会
	10/6	第12回としま医介連　情報提供、褥瘡アプリについて、医学誌別刷
	12/7	第13回としま医介連　介護情報検索システム-MCS連携について、忘年会
2018年	2/1	第14回としま医介連　情報提供、区境をこえる連携について、事例報告「失敗事例から学ぶMCS連携」
	4/30	在宅医療学会第20回記念大会にてとしま医介連の取り組み報告
	5/28	第15回としま医介連

頻度：2か月に1回ペース

内容：情報提供、事例検討、問題点の議論

⇒様々な職種が自由な発言をすることを心掛ける

忘年会、懇親会の開催

MCSを導入して、連携をすすめるには
～としま医介連から思うこと①～

- 目的：多職種が気軽に参加可能な会議を作る
- 主体：　行政／医師会／有志の会⇒地区医介連
  開催場所
- 参加：　多職種+圏域外/非医師会員/企業
- 頻度：　月2回～月1回～2ヶ月に1回～
  連携の進み具合や”温度”による

MCSを導入して、連携をすすめるには
～としま医介連から思うこと②～

- 内容：　情報提供/共有→医師会・ICT・報道等
  事例検討会
  レベルに合わせたハンズオンセミナー
  懇親会

- 周知：　MCSの「自由グループ」を用いる
  クチコミ→連携している人を紹介

- 連携：「自由グループ」→「患者グループ」で
  事例の連携が増加

豊島区医師会

地域統計情報

ユーザ総数（先月末）

すべて
801（783）

医療介護職
673（657）

一般
128（126）

投稿総数（先月末）

すべて
126879（122953）

医療介護職
123977（120160）

一般
2902（2793）

患者総数（先月末）

患者グループ総数
1092（1064）

本人未参加
998（970）

本人参加済
94（94）

施設総数（先月末）

医療介護関連施設
364（366）

自由グループ総数

自由グループ
327（323）

ログイン MAU（先月）

すべて
447（497）

医療介護職
420（465）

一般
27（32）

投稿 MAU（先月）

すべて
286（290）

医療介護職
267（270）

一般
19（20）

現在、800ユーザー超え
1ヶ月で 25ユーザー増加

1年で1000人以上の患者

多職種のMAUが65%以上

	ユーザ数	投稿数	患者数	施設数	自由グループ数
2018/04	24	3926	36	2	4
2018/03	25	5349	48	9	4
2018/02	24	4760	47	9	2
2018/01	16	4718	37	2	4
2017/12	20	4690	54	7	3
2017/11	18	4439	42	8	3
2017/10	24	4323	33	3	5
2017/09	43	4098	52	8	5
2017/08	38	4406	72	4	7
2017/07	39	4371	66	15	13
2017/06	21	4248	72	11	3

地区医介連の活動はMCS連携の普及方法の一つとして有用